

プレスリリース

2021年1月18日
香港貿易發展局

第14回『アジア金融フォーラム』1月18、19日開催 160人を超えるビジネスリーダーが経済情勢について分析

香港特別行政区(HKSAR)政府と香港貿易發展局(HKTDC)が共催した、第14回アジア金融フォーラム(AFF)が、本日仮想プラットフォームのもとで開催されました。2日間のフォーラムは、様々なタイムゾーンに対応するため24時間体制で開催され、「世界の経済情勢の再構築」をテーマに、160人を超える有力な政策立案者、金融専門家、投資家、ビジネスリーダー、経済学者たちが、現在の経済情勢について分析します。

HKSARの行政長官を務めるキャリー・ラムは、フォーラムの開会挨拶において、新型コロナウイルスがリスクとビジネスチャンスの両方をもたらしたと述べました。彼女は、今年のAFFには世界各地からの関係者が物理的に参加することは叶いませんでしたが、オンラインイベントとして、引き続き貴重な経済的知識や洞察、アイデアが交換できるほか、事業投資のオプションについて学習することなどによって、ビジネス関係を構築する機会を提供できると説明しました。彼女はまた、国際的な金融センターであり、世界の優れたビジネスハブの1つである香港は、ポスト・パンデミックには、とてつもなく大きな事業機会を惹きつける独特の場所であることを強調しました。

HKTDC会長であるピーター・ラム博士は、歓迎挨拶の中で次のように述べています。「例年、『アジア金融フォーラム』は、金融業界と財界のリーダーが一堂に会し、その時々々の主要なテーマについて議論することで新年を迎えています。2020年に世界的に直面した大きな課題に鑑みると、今年のフォーラムの「世界経済情勢の再構築」というテーマは特に意義深いものがあります。昨年度に起きたことは世界経済の再構築を促すだけでなく、私たちの生活の多くの側面に永続的な変化をもたらしました。そういう意味において、今年度のAFFは、これらの変化に対処する方法を見つける上で重要性を増しています。また、今回のAFFがこれまでと大きく異なる点の1つは、デジタル方式による開催になったということです。我々は、テクノロジーの力を借りて、世界各地からの参加者や講演者をお迎えすることができ、世界経済の回復を促進する方法を模索するだけでなく、テクノロジーの革新から持続可能な発展に至るまで、あらゆる問題を探求することができるのです。

中国人民銀行の党書記であり、中国銀行保険規制委員会の委員長である郭樹清は、AFFの開幕に当たり、基調講演を行いました。彼は、講演の中で、「今日の世界は歴史的な変化を目の当たりにおり、特にアジアは、数世紀前と同様に、世界文明において再び重要な発展の役割を果たす可能性がある。香港は、国際金融センターとして、新世紀の事業機会に対応することを求められており、グローバルな金融ハブとしての役割を果たす上で、より安定・繁栄することになると確信している。パンデミックは最終的には収束するものであり、我々は他の国々と協力して、グローバル化の機会とメリットを共有すべきだ。」と述べています。

ノーベル賞受賞者のエコノミストが現在の経済展望を調査・分析

新たなオンラインフォーマットへの移行にもかかわらず、AFFは、これまでどおりスタースピーカーがちりばめられたラインナップを引き継いでいます。本年の基調講演者の中には、2018年のノーベル経済学賞受賞者であり政策起業家でもあるポール・ローマーがいますが、彼は世界経済の現状を分析し、新たな持続可能な成長エンジンへの道標を示しました。ローマーは、2020年はアジアがヨーロッパと米国を大幅に凌駕した年であると述べ、次のように解説しました。「米国とヨーロッパにおけるリスクは、どんな状況に対しても、人々が既に何をすべきかを知っていると思いついていたことですが、これはイノベーションを殺す考え方なのです。」

世界経済情勢の再構築

AFFの本会議では、「世界経済情勢の再構築」という重要な課題が取り上げられました。クリストファー・ホイ香港特別行政区政府財務庁兼金融サービス庁長官が議長を務め、パネルの著名な講演者には、ルクセンブルク財務相のピエール・グラメーニャ氏、アジアインフラ投資銀行社長兼会長の金立群氏、イスラム開発銀行グループ社長のBandar M H Hajar氏、新開発銀行総裁のマルコス・トロイホ氏、欧州投資銀行副総裁のテレサ・チェルヴィンスカ氏、アイルランド財務相のショーン・フレミング氏らが招聘されました。彼らは、金融サービス部門が世界経済の回復にどのように貢献できるか、そして新しい経済情勢でどのような機会が待っているかについて、調査・分析をしました。

パンデミックの世界的大流行に直面して、多くの国の政府は大規模な財政刺激策を打ち出すため、大胆な金融政策を採用しました。今朝行われた政策対話セッションでは、「COVID-19への政策対応」をテーマとし、日本代表の水見野良三金融庁長官のほか、サウジ中央銀行総裁のアーメド・アルホリフィー氏、マレーシア中央銀行副総裁のジェシカ・チュー氏、世界銀行の中国・モンゴル・韓国局長マーティン・レイザー氏が一堂に会し、成長を支援する上での財政・金融政策の有効性、および規制当局側の観点からのフィンテックの使用増加の影響に関する洞察を共有しました。

世界経済の展望と持続可能な投資への取り組み

世界の銀行業界は、パンデミックによってもたらされた多くの課題とともに、低金利、コンプライアンス要件の追加、デジタルイノベーションの現状に鑑み、ビジネス変革のための迅速な対応を行ってきました。第一東方投資グループのビクターチュー会長兼CEOが議長を務める「グローバル経済の展望」と題された午後のセッションでは、銀行と金融セクターのビジネスリーダーたちが、銀行の将来像について検討するとともに、グローバルな業界の展望について意見交換、規制の変化とテクノロジーの進歩への対応法について議論します。講演者の著名なパネルには、香港証券取引所とクリアリングリミテッドの会長であるローラ・チャ氏、BNPパリバ会長のジャン・レミエール氏、中国銀行取締役会長の劉梁氏、クレディ・スイス・グループAGの取締役会会長ウルス・ローナー氏、スタンダードチャータードPLCグループの会長José Viñals氏、ユナイテッド・オーバーシーズ・バンク・リミテッドのウォン・カンセン会長らが名を連ねています。

パンデミックは、社会的責任投資とインパクト投資がより強力な基盤を築くにつれ、環境、社会、ガバナンス(ESG)などの検討事項を投資の意思決定に組み込み、企業に長期的な価値をもたらしつつ、投資家により高いリターンを生み出すことの重要性を浮き彫りにしました。「責任投資とインパクト投資」についての議論では、三井住友信託アセットマネジメントの菱田賀夫社長を含むパネルで、持続可能な投資の長期的な見通しについて分析しました。プライベート・ウェルス・マネジメント・アソシエーションの会長兼執行委員およびUBS香港支店のヘッド兼チーフエグゼクティブを務めるエイミー・ロー氏、ナティクス・インベストメント・マネージャーズのCEOイェナ・ラビー氏、Aavishkaar Groupの創設者兼会長であるVineet Rai氏、ニューバーガー・バーマンの会長兼最高経営責任者ジョージ・H・ウォーカー氏がパネリストとして参加しました。モデレーターは、香港上海銀行グローバルバンキング／上海バンキングコーポレーションリミテッドのESGソリューションマネージングディレクターであるジョナサン・ドリュエが務めました。続いて開催されたHSBCホールディングスPLCグループの会長であるマーク・タッカー氏との対話セッションでは、気候変動とESGのトピックについてさらに深く掘り下げました。

今日のさまざまな対話セッションで、彼らの考えを共有している他の注目すべき人物は、ヒルハウスキャピタルマネジメントの創設者兼最高経営責任者であるレイ・チャン氏とクレディ・アグリコルSAの最高経営責任者であるフィリップ・ブラサック氏です。

業界のリーダーが新たな課題を分析

グリーン経済、5G、イノベーションは、近年、経済発展の重要な要因になっています。午後のセッション「5Gとイノベーションによる経済のグリーン化」は、PwCのグローバルテクノロジー、メディア、テレコミュニケーション業界のリーダーであるウィルソン・チョウ氏が議長を務め、香港特別行政区政府のイノベーション・テクノロジー担当次官であるDavid Chung氏が講演を行いました。香港証券取引所およびクリアリングリミテッドのグリーン／サステナブルファイナンスの責任者 Grace Hui氏、チャイナモバイル香港インターネット&エンタープライズソリューション部門副部長ゴードン・グオ氏、PwCの中国本土・香港における気候と持続可能性のリーダーを務める Sammie Leung氏が参画します。

中央銀行デジタル通貨(CBDC)は、世界市場でますます注目を集めています。香港は、世界最高峰の国際金融センターであり、世界最大のオフショア人民元ハブとして、国境を越えたCBDC取引の探索と拡大を推進するのに最適な場所に位置しています。「進化する中央銀行のデジタル通貨の状況」をテーマにしたディスカッションでは、パネリストたちがCBDCの潜在的な使用例と、急成長する香港のフィンテックエコシステムが今後の事業機会にどのように対応できるかについての洞察を共有しました。講演者のラインアップは、金融サービス開発局会長のローレンス・リー氏と総裁のアウ・キンルン氏のほか、PwCグローバルクリプトリーダー兼パートナーのアンドリュー・アルスラニアン氏、香港証券取引所のマネージングディレクター兼チーフチャイナエコノミストと中国銀行協会チーフエコノミストのShusong Ba氏、香港特別行政区政府の金融サービス／財務次官のジョセフ・チャン氏、BISイノベーションハブ香港センターの責任者であるBénédicte Nolens氏です。

さまざまな業界の未来を探る新登場の「Dialogues for Tomorrow」シリーズ

本年のAFFでは、「Dialogues for Tomorrow」シリーズが新たに発足しました。2日間のプログラムでは、銀行、保険、フィンテック、エネルギー、ヘルスケア、食品、農業、ビッグテックなどのさまざまなセクターの将来展望について議論します。参加する著名な講演者には、Arbor Venturesの共同創設者兼マネージングパートナーMelissa Guzy氏、Bamboo Capital PartnersのマネージングパートナーFlorian Kemmerich氏、シカゴ大学ブースビジネススクールのエグゼクティブ・プログラム副学部長ランドール・クロスナー氏と経済学部教授ノーマン・R・ポビンズ氏、スタンダードチャータード銀行CEOのメアリー・ヒューエン氏、Visa Incの香港／マカオのゼネラルマネージャーMaaik Seinebach氏、AXA香港／マカオCEOのサリー・ワン氏、Daqo New Energy最高財務責任者のMing Yang氏、Dao Ventures & Dao Foods Internationalの創設者兼マネージングディレクターであるTaoZhang氏が名を連ねています。

140以上の企業・団体が参画するフィンテックとスタートアップ企業のためのオンラインショーケース

AFFには、Fintech Showcase、Fintech HK Startup Salon、InnoVenture Salon、Global Investment Zoneなどの特設ゾーンが用意されており、140以上の国内外の国際金融機関、テクノロジー企業、スタートアップ企業、投資機関が集まり、イノベーションや次世代のビジネスアイデアなどFintechの最新トレンドに関するオンラインのプレゼンテーションを随時行っています。それらは、世界各地から参加しているさまざまな業界の方々が投資の機会を模索するのに役立ちます。出展者には、サイバーポート(Cyberport)のスタートアップグループであるMoxBank、香港サイエンスパーク(Hong Kong Science and Technology Parks)、PAO Bank、Airwallexなどが名を連ねています。さらには、本年のAFF Deal Flow Matchmaking Sessionは、IoT、デジタルテクノロジー、ヘルステック、フィンテック、教育、環境とエネルギー、食品と農業、インフラストラクチャー、不動産など、さまざまな分野をカバーする世界各地のプロジェクトオーナーと投資家を結びつけます。仮想プラットフォーム上で1対1の個別ミーティング会議がアレンジされる本年度は、記録的な数の参加者が見込まれています。

イノベンチャーサロン(InnoVenture Salon)は、国際的な投資家や潜在的なビジネスパートナーとのつながりを構築し、香港の金融規制当局と協力してスタートアップの課題を解決することにより、スタートアップ企業に力を与えています。なお、HKTDC、500 Startups、FWD Groupは、本年初のプログラム「AFF Accelerate」を共同で発表、これは、スタートアップ起業家に保険業界向けの保険技術ソリューションを考案し、革新的なアイデアを商業化して世界にオープンイノベーションをもたらします。

AFF の 2 日目に 2 人の基調講演者とより多くの財務リーダーが参加

明日 (1 月 19 日) のセッションで、イノベーション、人工知能 (AI)、ベンチャーキャピタル投資に関する洞察を共有するのは、Reddit & Seven Seven Six の共同創設者である Alexis Ohanian 氏と、Apple の音声認識アプリ Siri の共同作成者である Luc Julia 氏の 2 人の基調講演者です。明日の議事のキックオフは、「COVID 後の時代の資産とウェルスマネジメント業界」と「気候変動のリスクと保険の機会」をカバーする 2 つのパネルディスカッションです。さらに、Nan Fung Group のグループ会長兼 CEO である Antony Leung 氏が司会を務める対話セッションでは、Blackstone の会長兼 CEO 兼共同創設者である Stephen Aschwarzman 氏が登壇します。

アジア金融フォーラム公式サイト <https://www.asianfinancialforum.com/aff/en/>

《メディアからのお問い合わせ窓口》

本件に関するお問い合わせや取材のご依頼は下記までお願いいたします。

香港貿易發展局

東京事務所

Tel: 03-5210-5850

E-mail: tokyo.office@hktdc.org

【主催者について】

香港貿易發展局 (HKTDC) は 1966 年に設立された法定機関であり、香港の貿易の促進、支援、発展を担っています。香港貿易發展局は中国本土の 13 カ所を含めて世界 50 カ所に事務所を設置し、香港が双方向でのグローバルな投資とビジネスの拠点となるよう尽力しています。香港貿易發展局は中小企業を主な対象に、中国本土および国際市場におけるビジネスチャンスを創出するため、展示会、国際会議、ビジネス使節などを運営・実施しています。香港貿易發展局はまた、最新の市場分析や製品情報を、貿易関連の出版物、調査レポート、デジタルニュースなどのチャンネルを通じて提供しています。詳しい情報は公式サイト: www.hktdc.com/aboutus (英語)、www.hktdc.com/Japan (日本語)をご覧ください。

香港貿易發展局は、日本では 1971 年に東京事務所、1981 年に大阪事務所を設立しました。



www.facebook.com/HKTDC.Japan

フェイスブックを通じて日本語での情報発信も行っています。